

2026年4月30日

各 位

会 社 名 株式会社 I Dホールディングス
代表者名 代表取締役社長 兼 グループ最高経営責任者
船越 真樹
(コード：4709 東証プライム)
問合せ先 専務執行役員 コーポレート戦略部長 原 尚子
(TEL. 03-3262-5177)

I Dホールディングス代表取締役社長 船越真樹が藍綬褒章を受章

株式会社 I Dホールディングス 代表取締役社長 兼 グループ最高経営責任者の船越 真樹が令和8年春の褒章において、「藍綬褒章」を受章しました。藍綬褒章とは、会社経営、各種団体の活動等をつうじて産業の振興、社会福祉の増進等に優れた貢献をした個人・団体に授与される、我が国の褒章です。

船越は一般社団法人情報サービス産業協会（以下、JISA）の副会長としての活動、および当社の代表取締役社長兼グループ最高経営責任者としての社業をつうじて、我が国の情報サービス産業の発展に尽力してきました。これらの功績などが評価され、今回の受章となりました。

記

■JISA 副会長として

船越は、平成19年に同協会の理事に就任して以来、情報サービス産業界の多重かつ不透明な下請け構造に関する業界全体の問題意識の薄さを痛感してきました。令和3年、同協会の副会長就任と同時に、「我々業界は変わらなければならない」とビジネス委員会を立ち上げ、自ら委員長として多くの活動に精力的に取り組みました。それらの成果として、発注先・発注元双方の価格転嫁の要望受入れに改善の兆しがみられています。

また、企画委員会の委員長に就任後は、東京都地区会の統合や定例会の改廃による協会全体の業務負担の削減を図り、効率化を実現しました。

さらに令和6年には、同団体が加入しているアジア・オセアニアコンピュータ産業機構(ASOCIO)の年次総会「ASOCIO Digital Summit 2024」が東京で開催されるにあたり、実行委員会の副委員長として、企画運営全般にわたり中心的役割を担いました。開催に向け、スポンサー企業への丁寧な説明と働きかけにより目標を上回る拠出金を確保し、運営面においても、海外273名・国内362名が参加する中、全日程を滞りなく終了させました。これらの取り組みは「ASOCIO Digital Summit 2024」の成功に寄与したとして高く評価され、JISAの事業遂行能力を国内外に示し、情報発信力向上に大きく貢献する結果となりました。

■当社グループ代表として

船越が当社取締役就任した平成7年当時はバブル崩壊の影響もあり、2期連続赤字と厳しい経営状況に晒されていました。企業文化も崩壊しかけていた会社を刷新すべく、船越は全社員が自由に討議できる「ID21会議」を立ち上げ、現状共有や問題解決の場を開きました。また、全社員の行動規範として経営理念の「IDentity」を制定し、企業の根幹には社員があるという思いから、若手から経営幹部まで幅広い層の社員育成に取り組みつつ、社員に「Change or Die!」（今、自己変革しなければこの先も変わることはできない）とメッセージを発信し続けました。経営面では業態革新や海外拠点の拡大などを力強く推進し、リーダーシップを発揮してきました。

その結果、IDグループは2025年3月期には売上高362億円の規模に成長しました。現在でも、今中期経営計画「Next 50 Episode III “JUMP!!!”」のひとつに「カルチャーの革新」を掲げており、変革と改善の姿勢を忘れずに実践し続けています。

事業活動のほかにも、CSRやSDGsの観点から社会貢献活動も積極的に行い、日本画、浄瑠璃をはじめとした日本文化・芸術の活動支援、若手音楽家の育成支援としての年2回のコンサート主催や協賛を長年行ってきました。また、近年では海外への日本の食文化の発信や地域貢献活動など、企業の社会的責任を果たす姿勢を明確に示してきました。

■受章者のコメント

このたびは褒章の栄に浴し、身に余る光栄に存じます。思いもかけぬことに驚くばかりではございますが、社員をはじめ、すべてのステークホルダーの皆さまからのご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。今、情報サービス産業はAI技術の進展を背景に変革期を迎えており、そこではより健全で持続的な産業の発展に向けた取組みが要となると考えております。これからも、Waku-Wakuする未来の実現に寄与すべく尽力してまいります。

■受章者の経歴

昭和34年 鳥取県大山町生まれ
昭和58年 慶應義塾大学商学部卒業
平成7年 株式会社インフォメーション・ディベロプメント
(現株式会社IDホールディングス・現当社) 入社
平成18年 当社代表取締役社長
令和5年 当社代表取締役社長 兼 グループ最高経営責任者 (現任)



■IDグループについて

IDグループは、1969年の創業以来、ITシステム運用やアプリケーション開発をつうじて、金融機関、ライフライン、交通・運輸をはじめとした社会インフラを支えています。安定した経営基盤と、顧客ニーズに寄り添った伴走型の支援は、投資家・お客さまから高く評価されてきました。

これからも技術力と人間力を柱として、マーケットを地球儀でとらえた新たな事業領域の開拓を推進し、グループミッションである「Waku-Wakuする未来創り」に取り組みます。

以 上